

白靴を履きて踏み出す第一步今日は良きことある予感する

千石 小出風沙子

空襲に焼け残りたる家の路地迎え火の煙風に流れる

湯島 松井知恵子

飯館のフェンスのかなた緑濃し先に景色は暗闇の中

水道 高木 マリ

五十年経てど変らぬ店と人東大前の喫茶「こころ」は

向丘 三宅 あき子

七夕を過ぎて二十日は誕生日戦中戦後よくぞ生きたる

春日 二村 吉光

傘寿過ぎさんじゆ五年目迎うる宇蘭盆会うらぼんえ来る年も我健やかにあれ

西片 松林 利枝

ふる雨に煙る菊坂影一つ過ぎりし人は一葉ならむ

春日 二村 吉光

紫陽花の藍の花々に小雨降り日暮帰るも妻の笑顔に

白山 宮田 要

日の落ちて光そいゆく金星は母のひとみのようにまたたく

小石川 白鳥 茂子

鴨の雛生まれて親の後を追うけんめいに水かく小さき足に

大塚 加藤 喜雄

俳句

松澤 雅世 選

念力や積乱雲の彼方まで

根津 小林 暢夫

紫陽花の雨の数ほど増えにけり

千駄木 山田 経子

萬緑や雨さやさやと山傾ぐ

湯島 西村 昭

ハリーポッター全巻読破夏休み

向丘 荒田 栄子

客の来てあんずの器迷いたる

関口 稲葉 浅治

かねやすの開かぬシャッター夏まひる

西片 小林 貴美子

それパズルやれ数独と夏最中

向丘 渋木 頼子

この齡よわいサルビヤのごと赤々と

本郷 田中 靖三

哲学も梅雨の中に煙りけぶけり

春日 二村 吉光

月下美人月の白ひに開きけり

向丘 三宅 あき子